



泉民の友

第3回「動く県庁」特集号

南紀開発に真剣な対話

白浜町で第3回「動く県庁」

県民のみなさんとヒザをまじえて話し合う「動く県庁」(第三回県政公聴会)が、十一月二十九日、白浜町の白浜会館で開かれました。

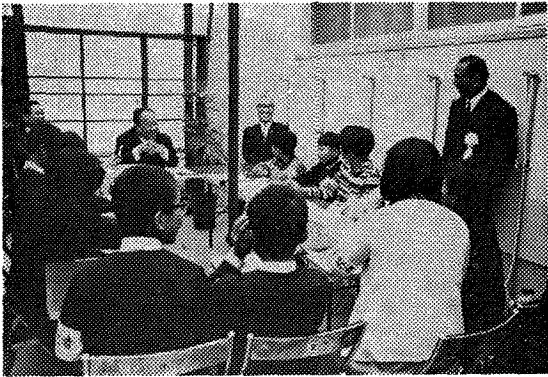
過疎化の波に洗われ再開発に懸命の南紀地域だけに問題は山積み会場を埋めた千五百人の傍聴者と住民を代表した二十一人の発言者は「なんとか住みよい南紀を」と、地元の実情を訴え、大橋知事を先頭とする県側との間で熱心な対話が展開されました。



ハッスル「豆記者」

珍問続出の知事記者会見

自派第一小(第二)の土人の「児童記者」が、昼の休憩時間に大橋知事と記者会



見きりし質問事項を書きこみ、大橋知事と記者会との間で、大橋知事の手記を手にした豆記者たちは「なぜ国体をひらくのですか」「知事になんかわけは、なにかわいの質問を聞え、大橋知事は国体を聞え、みんなのスポーツ施設ができる、町をきれいにしたり、全国の人に親切にしてあげると和歌山県をよ



「児童記者のお名前・敬称略)森貴志、真鍋求、藤原正孝、中原りえ、渡川恵子、三谷直子、榎本克彦、高尾美咲、小向朝、小山悦子、中山中子、辻本佐代子。

私の県政に対する基本的な考え方は、端的に申し上げて「調和を求め格差をなくしてゆけ」ということになりす。黒潮国体は、個案なかにもることがあっては大変なことで、南紀の発展を促す。そして、国道四十二号線の第一次完成、中辺路の国道昇格、さらに、また、紀勢本線の複線化もようやく見通しがついてきました。阪和高速道路の紀南延伸、南紀白浜空港も将来は、四国、九州とも結びたいと思います。田辺市と、その周辺地帯は観光を中心に、そして、道路の開発を背景に、暖地園芸、果樹近郊農業、日置川パイロット、南紀用水事業、さらに田辺、串本の漁港整備など、観光と諸産業を結びつけたプランをたて、この地方の発展にできる限りの努力をさせていただきます。まいるたいと考えております。

調和を求め格差をなくす

知事 大橋 正雄

「動く県庁」でなまの声を聞くとともに、その実情を見ておかなければ……。大橋知事は、「動く県庁」の前日十一月二十八日南紀療養園、田辺市立第二小学校、特殊学校、漁港、江川漁港、白浜町鶴居の花き栽培地などを精力的に現地視察にかけまわりました。また、移動県民相談、健康ひろば、巡回スポーツ教室など、付随行事も集中的に行なわれました。



「ちょっとありがとうございました。知事さんのお話を聞いて満足です。あとは実行していただくだけ」と最年少発言者の阪本保彦君(白浜中三年)は、会場二階正面には、阪本君のクラスメートたち百三十余人が陣取り、阪本君の発言に盛んな拍手をおくっていました。彼は、人を笑わせるのが好きな、ユーモラスな男です。きょうは私たちが言いたいことをすっきり代弁してくれたい」と満足そうな表情。

精力的に実情視察

(写真右)「水揚げがきても、収入は昨年とかわらない。なんとかしなければ……」そんなとかが、冷凍加工施設の建設など、近代化への道につながっているという。江川漁港をおとすれ、地元県議会議員や組合員と相談する大橋知事。

(写真左)「いつも「苦労さま」めくまれない人にしあわせを」と、真摯に考え続ける大橋知事は、田辺市立第二小学校にある特殊学校の児童を視察。からだの不自由な子供たちの教育に心血をそそぐ先生たちをねぎらいました。

会場内には、温泉旅館の従業員の姿から「ほら。」と、あつたてて来ましたが、熱気のある雰囲気は圧迫されました。私にはいつも白浜におこしになる人々、みんなに和歌山の良さを十分知っていただくよう努めています」と、ほおを紅潮させていました。

辺地保育所と保健婦



中辺路町栗橋川 養賢堂 主婦 十二年 前

辺地保育所と保健婦の活動について、中辺路町栗橋川に在住する主婦の経験談が紹介されている。

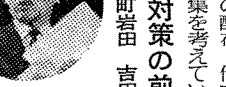
黒潮国体をおもむ



田辺市黒潮町 曾我部 健 市町村

黒潮国体の開催をめぐって、田辺市黒潮町の曾我部健氏のコメントが紹介されている。

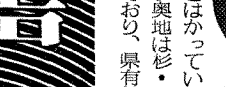
同和対策の前進を



上田町吉田 吉田安藏 無職

同和対策の進展について、上田町吉田の吉田安藏氏のコメントが紹介されている。

住みよい山村へ



大塔村下川 横瀬 二 農業

住みよい山村の建設について、大塔村下川の横瀬二氏のコメントが紹介されている。

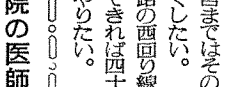
事故ゼロへ



白旗町白旗 坂本修平 白旗中三

交通事故ゼロの実現について、白旗町白旗の坂本修平氏のコメントが紹介されている。

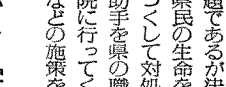
婦人活動に



日置川町大古 中康康子 主婦

婦人活動の指導と助成について、日置川町大古の中康康子氏のコメントが紹介されている。

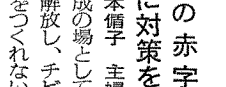
小中学校の統合促進



さき町小内河内 左倉潔士 農業

小中学校の統合促進について、さき町小内河内の左倉潔士氏のコメントが紹介されている。

漁民にも年金を



串本町串本 雑賀勝 漁業

漁民にも年金を支給するべきについて、串本町串本の雑賀勝氏のコメントが紹介されている。

野犬取り締まりを適切に



上田町市瀬 三浦小登美 主婦

野犬取り締まりの適切化について、上田町市瀬の三浦小登美氏のコメントが紹介されている。

老人クラブ対策など



日置川町日置 坂本直次 新聞販売

老人クラブ対策などについて、日置川町日置の坂本直次氏のコメントが紹介されている。

この声があすの県政に

代表十七人の発言要旨

この声があすの県政に 代表十七人の発言要旨
完全舗装、山村に現金収入の道を開くため、縫製工場などを誘致を進めている。大塔村でも集落再編成と労働力の確保状況を考え、これらの工場の拡張と設置を働きかけた。婦人団体の助成金は県費も限られているので、県段階のものには県で補助しているが、町村段階のものは町村で考えていた。分岐造林、林道の拡充につとめ、